

今月の推薦句

山田真砂年

参道のはるかに森や稲光

滝代文平

人生の愉しみ上手秋刀魚焼く

沼田布美

閑伽桶のみな裏返し昼の虫

大坪正美

洗われて出て行くバスや赤のまま

小見戸 実

誰も読めぬ芭蕉の句碑や泉湧く

飛田小馬々

行列の最後尾どこ鰯雲

池田美和

晩年の引き際難し熟柿かな

高田 峰

千屈菜の点々と咲く津波の地

池田角之助

手を汚し口を汚して熟柿食ぶ

山田ゆい子

艶聞に縁なき男秋刀魚焼く

原田白鷗

「触れないで」牛蒡の花は反抗期

くぼ六茶

二階建てバス葡萄紅葉の甲州路

林 恵美子

ずつしりと食材買つて処暑の朝

関口敦子

濡れ縁に父と子のゐる良夜かな

安藤裕子

秋まつりのミルキー打ち落とす

瀧本 萌

一病にやさしき香り菊枕

大和田美和子

(「明治神宮」)

じやりじやりと行くかたはらに木の実落つ

戸上晶子

電線の目障りなるや秋気澄む

田村チカ

限界の部落に赤き一位の実

矢代靖子

秋の雲絵本のやうなモノレール

飛田小馬々

実玫瑰球場ほどの駐車場

滝代文平

熊鈴を鳴らしに鳴らし茸採り

林 恵美子

献立を朝から宣言きのこ飯

池田美和